



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ピエトロ
 コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村田 邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 池田 邦雄

TEL 092-724-4927

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,749	△4.7	306	△20.4	301	△20.3	153	△23.2
26年3月期第2四半期	4,981	0.8	384	27.8	378	30.5	200	48.5

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 154百万円 (△23.9%) 26年3月期第2四半期 202百万円 (51.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	27.53	—
26年3月期第2四半期	35.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
27年3月期第2四半期	7,554		3,445	45.6			616.24	
26年3月期	7,439		3,397	45.7			607.65	

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,445百万円 26年3月期 3,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	19.00	19.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の連結業績予想(平成26年 4月 1日～平成27年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	9.4	560	2.8	540	1.5	250	4.5	44.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	5,591,630 株	26年3月期	5,591,630 株
27年3月期2Q	497 株	26年3月期	497 株
27年3月期2Q	5,591,133 株	26年3月期2Q	5,591,133 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算説明会及び四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成26年10月30日(木)及び31日(金)にアナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。
四半期決算補足説明資料については、説明会当日に会場にて配布いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げによる景気低迷からの回復力が弱く、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

食品業界及び外食業界におきましては、期間前半は増税前の駆け込み需要の反動により、期間後半は天候不順の影響などにより、厳しい環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」にこだわった付加価値の高い商品やサービスのご提供をとおして、ブランド価値向上に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、消費者の節約志向が高まったことなどの影響を受け、47億49百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

利益面では、原材料費及び販管費の節減に努めましたが、売上げの減少により、営業利益は3億6百万円（前年同期比20.4%減）、経常利益は3億1百万円（前年同期比20.3%減）、四半期純利益は1億53百万円（前年同期比23.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、「通信販売事業」については、「食品事業」のセグメントに含めることにいたしました。

以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組替えた数値で比較しております。

①食品事業

ブランド戦略に基づくきめ細やかな営業により、カロリーを抑えたドレッシングやパスタソースが順調に売り上げを伸ばしました。また、ヘルシーで豊かな味わいの「オリーブオイル・ドレッシング・シリーズ」と、玉ねぎのおいしさをさらに加えた「生搾りドレッシング・シリーズ」の定着化を図ってまいりました。

9月には、ドレッシングとスパドレの新商品を投入し、売り場拡大を図っております。

一方、通信販売限定商品につきましては、健康への意識の高いお客様へ向けて、低カロリーで塩分を抑えた「PIETRO Kenkou」シリーズを新たに開発し、その第1弾としてパスタ3品を発売いたしました。

以上のことから、売上高は33億28百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益は10億68百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

<平成26年度 新商品>

発売時期	商品名
平成26年9月	ドレッシング「麴と黒酢オリーブオイル」 ゆでたパスタにまぜるだけ スパドレ「海老クリーム」

<平成26年度 通信販売限定新商品>

発売時期	商品名
平成26年4月	パスタソース「4種のチーズの本格カルボナーラ」
平成26年6月	パスタソース「ピエトロ風ナポリタン デミグラスソース仕立て」 村田厨房直送便「6月便り」 PIETRO Kenkouシリーズ 冷凍パスタ 3種 「牛もも肉の本格ボロネーゼ」 「サーモンの濃厚カルボナーラ」 「トリュフが薫る贅沢ペペロンチーノ」
平成26年7月	スープ「国産たまねぎの冷製ホワイトポタージュ」
平成26年9月	村田厨房直送便「9月便り」 ピエトロオリジナルオリーブオイル

②レストラン事業

本年4月にグランドメニューを一部改定し、メニューの充実を図りました。また、地元企業とのコラボレーションによる「冷製パスタフェア」を実施し、ご好評をいただいております。さらに、店舗限定メニューとして、自家製ヨーグルトを加えた「ヨーグルト スフレ パンケーキ」を提供するなど、ティータイムのメニューを強化いたしました。

店舗展開につきましては、4月に「筑紫通り店」を新規オープンし、5月には「ソラリア店」をリニューアルオープンするなど、立地に応じた魅力ある店舗づくりを行ってまいりました。また、9月には、新業態「PIETRO DRESSING 岩田屋店」を百貨店の食料品フロアにオープンいたしました。当店は、プレミアムドレスリングなど新たに開発した高付加価値商品とサラダパスタなどのテイクアウト商品の販売を行う新しいスタイルの店舗であります。

以上のとおり、サービスの向上を図ってまいりましたが、天候不順などによる来客数の減少とF C店の店舗減少などにより、売上高は13億46百万円（前年同期比4.7%減）、セグメント損失は15百万円（前年同期は27百万円のセグメント利益）となりました。

<平成26年度 レストラン 季節のメニュー>

提供時期	メニュー名
平成26年4月	春のごちそうフェア
平成26年4月～8月	冷製パスタフェア
平成26年9月	秋のカルボナーラフェア

<平成26年度 PIETRO DRESSING 岩田屋店 新商品>

発売時期	商品名
平成26年9月	ドレスリング KUNIプレミアム 2種 「手作りたまねぎ」、「能古島レモンとたまねぎ」 洋風だし 2種 「チキン」、「ロブスター」 食べるたまねぎ 2種 「オリーブ」、「レモン」 あめ色たまねぎ ソテードオニオン フライドオニオン からあげベース 3種 「生姜&しょうゆ」、「豆板醤&唐辛子」、「レモン&ハーブ」

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、ほぼ計画通りに推移し、売上高は74百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント利益は35百万円（前年同期比10.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加し、75億54百万円となりました。これは主に売掛金が1億8百万円減少する一方、現金及び預金が1億91百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ67百万円増加し、41億9百万円となりました。これは未払金が76百万円、役員退職慰労引当金が56百万円増加する一方、借入金が返済により62百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、34億45百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億6百万円及び四半期純利益1億53百万円の計上によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、9億78百万円となりました。この主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2億98百万円の計上と、未払金の増加及び売上債権の減少等により前年同四半期に比べ2億8百万円増の4億25百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出の増加などから1億88百万円の支出となり、前年同四半期に比べ70百万円の支出増となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出があったことなどにより1億98百万円の支出となり、前年同四半期に比べ89百万円の支出増となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇など、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

当社グループは、「おいしさと健康」を意識した商品のご提供をとおして、お客様満足度のさらなる向上に努めてまいります。

なお、平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,025,778	1,217,179
預け金	43,685	36,679
売掛金	1,176,746	1,068,235
商品及び製品	90,973	103,466
仕掛品	3,149	3,845
原材料及び貯蔵品	112,338	131,480
繰延税金資産	33,821	32,577
その他	104,162	192,288
貸倒引当金	△749	△682
流動資産合計	2,589,906	2,785,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,913	1,475,880
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	222,322	229,968
有形固定資産合計	3,673,438	3,712,051
無形固定資産	65,232	58,976
投資その他の資産		
敷金及び保証金	454,659	433,732
保険積立金	389,199	414,958
その他	286,637	169,273
貸倒引当金	△19,409	△19,302
投資その他の資産合計	1,111,087	998,662
固定資産合計	4,849,759	4,769,690
資産合計	7,439,666	7,554,758
負債の部		
流動負債		
買掛金	416,227	429,140
短期借入金	1,250,000	1,250,000
1年内返済予定の長期借入金	118,160	308,140
未払金	348,500	425,083
未払法人税等	185,167	139,557
賞与引当金	46,439	51,710
その他	238,725	268,147
流動負債合計	2,603,219	2,871,778
固定負債		
長期借入金	545,832	293,332
役員退職慰労引当金	565,384	621,526
退職給付に係る負債	65,737	62,884
資産除去債務	47,996	55,690
その他	214,051	204,073
固定負債合計	1,439,001	1,237,506
負債合計	4,042,221	4,109,285

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	474,400	474,400
資本剰余金	516,922	516,922
利益剰余金	2,390,668	2,438,375
自己株式	△449	△449
株主資本合計	3,381,541	3,429,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,494	15,623
為替換算調整勘定	409	601
その他の包括利益累計額合計	15,904	16,225
純資産合計	3,397,445	3,445,472
負債純資産合計	7,439,666	7,554,758

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,981,810	4,749,377
売上原価	2,036,986	1,922,954
売上総利益	2,944,823	2,826,422
販売費及び一般管理費	2,560,369	2,520,411
営業利益	384,454	306,010
営業外収益		
受取利息	120	200
受取配当金	703	698
役員退職慰労引当金戻入額	—	1,645
為替差益	2,206	1,699
その他	1,153	922
営業外収益合計	4,184	5,165
営業外費用		
支払利息	6,770	6,047
シンジケートローン手数料	3,155	3,208
その他	87	101
営業外費用合計	10,013	9,357
経常利益	378,625	301,818
特別利益		
固定資産売却益	4,983	—
特別利益合計	4,983	—
特別損失		
固定資産除却損	119	3,701
特別損失合計	119	3,701
税金等調整前四半期純利益	383,489	298,117
法人税、住民税及び事業税	182,983	126,445
法人税等調整額	△36	17,733
法人税等合計	182,946	144,178
少数株主損益調整前四半期純利益	200,543	153,938
少数株主利益	21	—
四半期純利益	200,521	153,938

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	200,543	153,938
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,308	128
為替換算調整勘定	△89	192
その他の包括利益合計	2,219	320
四半期包括利益	202,762	154,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,767	154,258
少数株主に係る四半期包括利益	△5	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	383,489	298,117
減価償却費	92,049	103,120
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,352	△173
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,595	5,271
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△985	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	56,070	56,142
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△2,852
固定資産売却損益(△は益)	△4,983	—
固定資産除却損	119	3,701
受取利息及び受取配当金	△824	△898
支払利息	6,770	6,047
売上債権の増減額(△は増加)	129,266	108,363
たな卸資産の増減額(△は増加)	△19,869	△32,757
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,031	13,172
未払金の増減額(△は減少)	△100,247	78,744
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,174	40,945
その他	△69,189	△81,387
小計	378,052	595,557
法人税等の支払額	△161,174	△170,203
営業活動によるキャッシュ・フロー	216,878	425,353
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△30,000	△30,000
有形固定資産の取得による支出	△62,904	△122,358
有形固定資産の売却による収入	6,154	—
投資有価証券の取得による支出	△1,772	△1,691
敷金及び保証金の回収による収入	18,685	9,377
保険積立金の積立による支出	△25,695	△25,758
利息及び配当金の受取額	824	898
その他の収入	—	1,449
その他の支出	△23,854	△20,727
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,562	△188,811
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△280,880	△62,520
リース債務の返済による支出	△20,042	△23,878
配当金の支払額	△100,847	△106,177
利息の支払額	△7,092	△6,033
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,862	△198,609
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,379	1,461
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,167	39,395
現金及び現金同等物の期首残高	996,702	938,613
現金及び現金同等物の四半期末残高	988,534	978,008

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,489,770	1,413,396	78,644	4,981,810	—	4,981,810
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	974	974	△974	—
計	3,489,770	1,413,396	79,618	4,982,785	△974	4,981,810
セグメント利益	1,078,011	27,136	39,725	1,144,873	△760,418	384,454

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は760,418千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,328,080	1,346,890	74,405	4,749,377	—	4,749,377
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	974	974	△974	—
計	3,328,080	1,346,890	75,380	4,750,351	△974	4,749,377
セグメント利益 又は損失(△)	1,068,054	△15,795	35,519	1,087,778	△781,768	306,010

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は781,768千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、「通信販売事業」につきましては、量的な重要性が乏しくなったため、取扱製品が概ね類似する「食品事業」に含めることにいたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。